

初等科

企画課管理用 教 — B — 1

推進主体	各教科研究部
責任者	教務課長

分類	実施計画		開始年度	完了年度	将来的な継続
教 — B	各教科の指導内容・指導法の充実と教材・教具の開発		令和 4 年度	令和 6 年度	あり(予定)

① 目的・内容

学習院のミッション「たくましい創造力」を育むために、その根幹をなす各教科の教育の充実を目指す。OECD加盟国はDeSeCoプロジェクトで推奨した資質・能力の伸長を目的とした教育観に切り替えたが、これに対しては国際バカロレアから能力主義に偏っているとの批判的な声もあり、これから国際社会が向かおうとする方向も定まっていない。

しかしながら、OECDの提案している「自律的に活動する」「異質な集団で交流する」といったカテゴリーでは、日本の教育に大いに取り入れなければならない要素が散在する。そして、OECDの提案する資質・能力に加え、「たくましい創造力」を育むうえで何が大切なのかを追究するという視点に立ち、研究していく。

初等科では観察力や探求心を伸ばしたり、学び合い・協働学習を推進したりすることにより、学習指導要領で目指している「資質・能力の育成」を実現しようとしている。その具体的な手段として、「各教科の新しい指導方法及び内容の研究」「教材・教具の開発」を位置づける。

② 到達目標(数値目標/定性目標) ※数値目標を設定できない計画は、定性目標を設定すること。

資質・能力を批判的に考えながら、「創造力を育成する教育」の在り方を研究する。まずは、探求学習、協働学習のための授業の在り方やICTを用いた効果的な学習の仕方を追究していく。この成果を、次期学習指導要領が発表される前に、研究紀要、または冊子、学校評価などの形で中間報告をする。そして、探求学習、協働学習のための教材、教具を開発し、作成する。

③ ロードマップ

年度	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
予定	「創造性を育成する教育」の在り方として、指導法や教科の内容を検討する。						
	教科ごとの教材・教具の開発と作成						
	探求学習、協働学習により、創造性を育成する。						
	開発した教材・教具を使った教育の実施						

④ 数値目標の詳細 ※設定できない計画については記載不要。

指標の名称		指標の定義(計算式/説明)					
1	教材・教具の開発	各教科ごとの達成率の平均					
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							
2	副専攻制度修了率	修了者数(全プログラム合計)÷登録者数(全プログラム合計)×100					
	直近	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)
目標							
実績							

⑤ 実施計画／実施報告		
年度	実施計画	実施報告／今後の課題
令和2年度 (2022年度)	「資質・能力の育成」の実現のための新しい指導方法及び内容の研究, 及び教材・教具の開発を行う。教材や教具は, 初等科仕様にアレンジしたり新規に制作したりする。	社会科「学習院初等科学校周辺図」データの作成 ・帝国書院に依頼して, 最新の初等科周辺図のデータを作成。主に3年社会科の「学校のまわり」の単元で活用することとなる。
令和3年度 (2023年度)	「資質・能力の育成」の実現のための新しい指導方法及び内容の研究, 及び教材・教具の開発を行う。教材や教具は, 初等科仕様にアレンジ・新規に制作等を計画する。	協働学習:「自重互敬」の精神を涵養するために, 科長室に掲げていた「自重互敬」の額を教材として活用することとなった。そこで, レプリカを作ることにしたが, 額装と本紙の保存修理が必要なことが判明し, 作業を進めてもらうことにした。 算数科:当初予定の九九カードにかえて, オリジナルの小さな三角定規を600セット作成。敷き詰めの学習に使用する。 音楽科:管楽器を中心に購入する。 英語科:新教科書のイラストや挿絵を作製及びオリジナルポスターを作製。 理科:専門家の協力を得て千葉の校外学習とリンクした, 貝の標本作製。
令和4年度 (2024年度)	自重互敬のレプリカを活用し, その精神を活かしながら, 様々な教科で協働学習を推進していくこととする。 また, 「資質・能力の育成」の実現のための新しい指導方法及び内容の研究, 及び教材・教具の開発を行う。教材や教具は, 初等科仕様にアレンジ・新規に制作等を計画する。	「自重互敬」の書の本紙は, 修復と保管のための処置を行った後, 新たに設けた地下収蔵庫に保管した。旧額装は伝来の経緯を残すものとして, そのままの形で同じく収蔵庫に保管した。レプリカの2面については, 1面は以前のように科長室に掲げ, 残りの1面は, 現在整備を進めている資料展示室に掲げることを検討している。レプリカを作成したことにより, 児童に実際に見せながら自重互敬の精神の話をする事ができるようになった。その他各教科の教材や教具については, 今後は一般予算より支出し, 「資質・能力の育成」の実現のための新しい指導方法及び内容の研究を継続することとするため, 中期計画の中では終了とする。

⑥ 計画の成果・今後の方針 ※計画を中止する場合はその理由を記載のこと。	
<p>【計画の成果】 当初の目標としていた, 観察力や探求心を伸ばすことで「資質・能力の育成」を実現するということでは, 以下の教具・教材が大いに役立ち, 児童の学習への意欲は高まり観察力や探求心を育むことができた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.社会・・・学習院初等科学校周辺図の作成。 2.算数・・・オリジナル三角定規の作成。 3.音楽・・・新しい楽器の購入。 4.理科・・・貝の標本の作成。 5.共通・・・自重互敬のレプリカの作成。 <p>【今後の方針】 中期計画推進予算での各教科の指導内容・指導法の充実と教材・教具の開発に関する事業は, 令和6年度で終了となる。 今後は, 「創造力を育成する教育」も研究しながら, 探求学習・協働学習のための授業の在り方や, ICTを用いた効果的な学習の仕方を追究し, 「資質・能力の育成」の実現のための新しい指導方法及び内容の研究を継続して進めていきたい。</p>	
<p>※計画完了時点で記載してください。 ○・・・必須事項 △・・・必要に応じて記載 ○②到達目標に対する結果 ○計画の中止理由(※中止する場合) △今後の見通し・課題(通常事業化など) △その他</p>	